

第3回日産財団リカジョ賞 -奨励賞-

テーマ	女子中学生が理科を楽しく学び、好きになる恵泉女学園メソッドについて		
所属機関	恵泉女学園中学・高等学校	役職 氏名	理科教諭 中川 大輔
活動紹介	<p>中学の時に理科を楽しく学び、理科を好きになってもらうにはどうすれば良いかを考え、4年前より、理科の通常授業に加えて様々な取り組みを行っている。たとえば、中学1年では、自ら割り当てられた動物について調べ、レポートの作成（夏休み課題）をし、プレゼンテーションを行う。また、中学3年次には探究実験という、自ら研究テーマ設定をし、3か月間かけて、実験、結果まとめ、プレゼンテーションまで行う取り組みを行っている。生徒たちは、研究テーマが決まると理科教員も考えつかないような独創的な発想で実験案を提案し、研究する。想像した結果が出るかはわからない中で、多くの試行錯誤をくり返し理科を楽しんで行っている。この、実験案を立て、実験し結果を確認、また実験をするという過程は大学などでの研究のみならず、将来の生きる力の育成にもつながると考える。また、夏休みには、自由参加（全学年）の理科好き増やそうプロジェクトと題して結晶コンテストや紙ヒコーキコンテストなどを行い、2018年度は約90名の参加者の中からグランプリを決定した。</p> <p>放課後にも理科クラブだけでなく、課外サイエンスアドベンチャーとして、生物班、物理班、化学班、コンピューターサイエンス班があり放課後の理科系クラブ・課外活動が計5種類あり、理科に興味関心のある生徒を広く受け入れている。</p>		
PR メッセージ	本校の理科のプログラムによって高校での理系選択者が4年間で24名から67名に増えました。多くの理科のプログラムやしゅみ作りで理科好きを増やしています。		

